



同窓会報

校報会局 17の136
 学 務 部 22-2536
 高 等 学 校 北 事 務 部
 北 窓 行 窓 会 社 石 神 町
 岡 崎 市 岡 崎 区 大 原 正
 岡 同 発 岡 同 岡 崎 大 原 正
 題 字 : 大 原 正 義



同窓会会長
春井 宏之

校というのにはプロセスを経験できる貴重な場所
 なのです。

コロナウイルスによるパンデミックが終息し
 ません。この原稿を書いている時点で東京オリ
 ンピックが開催されるのかも明確ではありません。
 昨年度は、北高会総会および懇親会をむなく中
 止にいたしました。一年以上の時を経て、未だ解
 決をみない将来を誰が予想できたでしょうか。
 最近気になる事は、この国全体に広がってい
 る「中抜き」の社会構造です。世の中は結果を求
 め、結果が良ければすべて良しという、途中経過
 を無視してしまふ風潮になってきているのではな
 いでしょうか。

便利な道具というのは、途中のプロセスを省
 くから便利に感じるのでしょう。たとえば電子
 辞書のようなものを使ったとたんに英単語を
 覚えてしまったかのように。またタブレットを
 持ったとたんに、世界中の知識を得てしまっ
 たかのように。人間は勘違いをしてしまふので
 す。そんな世の中になってきた今、学校教育こそ
 はプロセスを重要視しなければなりません。学

北高を卒業した娘が、大学在学中にカナダに
 語学留学をしました。留学して半年が経ったこ
 ろ一本の電話がかかってきました。「お父さん
 私、日本語がわからない」。考えてみれば当然の
 事でした。世界には紛争のある国、政治的問題を
 抱える国、戦争中の国など、さまざま環境にお
 かれていてる国がたくさんあります。そうした
 国々から集まった若者たちが英語の勉強をして
 いるのです。日本人の留学生のように、平和な環
 境を当たり前のこととして日々過ごしてきた者
 にとって、苛酷な状況に身を置く世界の若者た
 ちとつながるためには、「プロセスを理解する
 ことが必要なのです。それを日本語でどう考え
 るのかが見つからなかったのです。」

この娘は現在中学校で英語を教えています。
 日本人が英語の力をつけ、英語を武器に社会で
 活躍していくということは、結果として英語が
 できるということも大切なのですが、まずはプ
 ロセスとして日本語でどう考えたのかというこ
 とが重要になってきます。

現在、英語教育をうたう教材や塾などでは日
 本語の語彙やことばの理解の重要性を説くこと

はほぼ皆無です。現代人は、世の中に便利といわ
 れるしくみや機器が新出した分だけ「本質を考
 える」「感じ取る」必要が増したと言えるので
 しょう。思考の基礎は、日本語を深く理解し表現
 できるスキルを身に着け、プロセスを「中抜き」
 しないことにあるのではないのでしょうか。



校長
大石 益美

同窓会の皆様にはますます御清祥のこととお
 喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に御
 理解・御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今春、坪井基紀前校長の後任として、母校であ
 る本校に着任いたしました。正門からの長いア
 プローチ、広いグラウンドとポプラ並木、丘の上
 の校舎、そしてそこから見渡す岡崎の街の風景
 は、生徒として通っていた四十年前と変わらず、
 無条件に私を受け入れてくれたような気がしま
 す。一方で、セーラー服と詰め襟だった制服はプ
 レザーになり、校舎も新しく建て替えられ、コス
 モサイエンスコースの研究成果が校長室前に掲
 示されるなど、確実に時代の移り変わりを感じ
 ます。この伝統と新しいものが融合する素晴ら
 しい学び舎で、生徒たちが自分の未来を見据え
 て成長していくのを支え、また本校の更なる発
 展のために努めてまいっている所存ですので、どうぞ
 ようしくお願いいたします。

本校には、本県初の理数科が来年度設置され
 ます。現在のコスモサイエンスコースを専門学
 科へと発展させ、更に先進的な理数教育に取り
 組み、ものづくり愛知の持続的な発展を支える
 リーダーとして、理数工学系人材、国際社会で活
 躍できる科学技術開発を担う人材、新たな価値
 を創造できる人材の育成を目指します。そのた
 めの新たな施設・設備の整備も着々と進んでお
 ります。もちろん普通科についても、これまでの
 伝統を受け継ぎつつ、来年度から導入される新
 学習指導要領に沿って、これからの社会を担う
 リーダーを育成すべく、ブラッシュアップを
 図ってまいります。

新学習指導要領では、育成すべき3つの資質・
 能力として「知識及び技能」「思考力、判断力、表
 現力等」「学びに向かう力、人間性等」を掲げ、「主
 体的・対話的で深い学び」を行うことが示され
 ています。探究的な授業や、自ら課題を発見し、
 追究し、発表する機会が格段に増え、ICTの活
 用も求められています。現在、授業改善を図って
 教員は熱心に研究を重ね、生徒はそれによく応
 えて生き生きと諸活動を行っています。その信
 頼関係を大切にして、生徒に確実な力を身に付
 けさせ、不透明な未来社会に向けて自律した人
 間に育てていきたいと考えています。

未だコロナ禍で思うような活動ができないこと
 も多くありますが、生徒は学習活動や部活動に励
 み、青春を謳歌しています。どうぞこれからも変
 わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

— 進学情報 —

令和3年度入試 合格者数 (過年度卒を含む)

国立大合計	213
公立大合計	53
合計	266

進路実績詳細は、
ホームページをご参照ください。

国公立大学 東日本

東日本 29	北海道大	3
	秋田大	1
	山形大	3
	東北大	2
	弘前大	1
	岩手大	1
	筑波大	4
	茨城大	2
	埼玉大	1
	群馬大	1
	東京学芸大	1
	電気通信大	2
	横浜国立大	2
	釧路公立大	1
	高崎経済大	2
東京都市立大	1	
横浜市立大	1	

国公立大学 西日本

西日本 45	滋賀大	5
	京都大	1
	京都工芸繊維大	1
	大阪大	6
	神戸大	3
	奈良教育大	1
	奈良女子大	1
	岡山大	1
	広島大	3
	鳥取大	3
	島根大	1
	山口大	1
	高知大	1
	徳島大	1
	九州大	2
	九州工業大	1
	熊本大	2
	大分大	1
	鹿児島大	3
	滋賀県立大	1
	京都府立大	1
	神戸市外国語大	1
	大阪市立大	1
	兵庫県立大	3

国公立大学 中部地区

中部地区 192	愛知 112	愛知教育大	36
		名古屋工業大	24
		名古屋大	18
		愛知県立大	23
		豊橋技術科学大	2
		愛知県立芸術大	1
		名古屋市立大	8
		岐阜大	12
	東海三県 49	浜松医科大	1
		静岡大	26
		三重大	6
		静岡県立大	1
		岐阜薬科大	1
		静岡文化芸術大	2
		富山大	6
	甲信越・北陸 31	金沢大	6
		福井大	8
		山梨大	2
		信州大	4
金沢美術工芸大		1	
福井県立大		1	
公立諏訪東京理科大	1		
都留文科大	2		

主な私立大学

上智大	2	明治大	8	名古屋外国語大	54
早稲田大	2	立教大	1	南山大	144
駒沢大	5	日本大	11	藤田医科大	30
青山学院大	5	愛知大	179	名城大	234
津田塾大	1	愛知淑徳大	50	同志社大	17
中央大	7	金城学院大	18	立命館大	72
東京理科大	9	椋山女学園大	37	関西大	5
東洋大	4	中京大	80	近畿大	20
法政大	11	豊田工業大	16	関西学院大	8

トピックス

- ① 国公立大合格 266名。
- ② 名古屋大学18名、
浜松医科大学1名合格。
- ③ 北海道大学3名、東北大学2名、
大阪大学6名、京都大学1名、
神戸大学3名、九州大学2名合格。
- ④ コスモ11期生も大きくはばたく。
国公立大学に24名合格。

部活動成績 (令和2年8月~令和3年7月)

西三河地区大会の成績は岡崎北高校のホームページをご参照ください。

【全国大会以上】

部活動名	大会名	部門	成績
陸上競技部	第74回全国高等学校総合体育大会陸上競技	女子走高跳	出場
音楽部	第45回全国高等学校総合文化祭 愛知県代表	合唱部門	出場
囲碁将棋部	第57回全国高校将棋選手権大会	女子個人	出場

【東海大会】

部活動名	大会名	部門	成績
陸上競技部	第68回東海高等学校総合体育大会陸上競技	男子棒高跳	第13位
		女子走高跳	第5位
水泳部	第68回東海高等学校総合体育大会水泳競技	女子100m自由形	出場
		女子200m自由形	出場
吹奏楽部	第33回中部日本個人・重奏コンテスト本大会	高等学校重奏の部打楽器七重奏	銀賞

【県大会(入賞以上)】

部活動名	大会名	部門	成績
水泳部	令和2年度愛知県高等学校水泳競技大会	女子4×100mフリーリレー	第7位
		女子4×200mフリーリレー	第6位
		女子4×100mメドレーリレー	第7位
		女子総合	第7位
	令和2年度愛知県高等学校新人体育大会水泳競技	女子100m自由形	第5位
		女子200m平泳ぎ	第5位
		女子200m個人メドレー	第5位
		女子400m個人メドレー	第4位
		女子総合	第8位
	第75回愛知県高等学校総合体育大会水泳競技	女子100m自由形	第2位
		女子200m自由形	第6位
		女子総合	第8位
陸上競技部	令和2年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技	男子棒高跳	第3位
		女子走高跳	第6位
	2020愛陸上競技協会駅伝競走大会	高校男子の部	第7位
第75回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技	男子棒高跳	第6位	
	女子走高跳	優勝	
弓道部	第13回愛知県武道館高校生弓道大会個人戦	男子個人	準優勝
放送部	令和2年度愛知県高校放送コンテスト新人大会	アナウンス部門	入選
		朗読部門	入選
吹奏楽部	第33回中部日本個人・重奏コンテスト愛知県大会	高等学校個人の部	銀賞
		高等学校重奏の部クラリネット	銀賞
		高等学校重奏の部打楽器七重奏	金賞
囲碁将棋部	第57回全国高等学校将棋選手権愛知県大会	女子個人	第2位

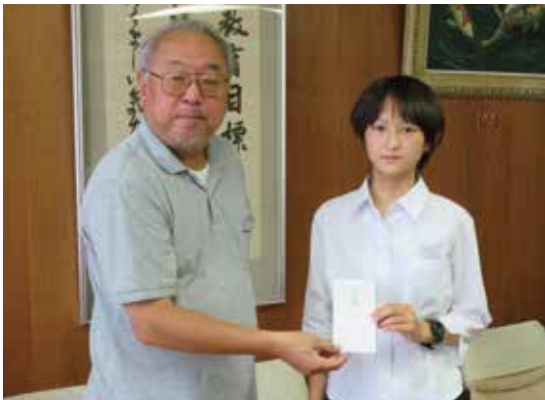
その他の県大会出場部:
陸上競技、水泳、バレーボール(男女)、卓球(男女)、弓道、男子バスケットボール



激励費贈呈 陸上部 全国大会出場



激励費贈呈 音楽部 全国総合文化祭出場



激励費贈呈 囲碁将棋部 全国大会出場



激励費贈呈 陸上競技部 東海大会出場



激励費贈呈 水泳部 東海大会出場



激励費贈呈 吹奏楽 東海大会出場



平成二十五年度(上段写真、松喰い虫駆除)、平成二十六年(下段写真、英語読み物寄贈)



平成二十三年度(上段写真、三本松再生)、平成二十四年度(下段写真、ポプラ再生)

過去の支援状況

ポプラ基金
 「ポプラ基金」は、平成二十五年度より、従来の岡崎北高校の環境整備に加えて、岡崎北高校の蔵書を充実する支援も目的としています。今までの支援状況を以下にまとめましたので、今年度も今まで以上に、会員の皆様の温かいご理解とご支援をお願いいたします。なお、ポプラ基金の決算状況は第7面の会計報告をご参照ください。



平成三十年(ここ数年間の豪雨や台風の影響で、ポプラの木が何本か倒壊してしまいました。十二月にポプラ並木を再生に向け、苗木の植樹をしました。また、図書館への書籍の寄贈もしました。)

平成三十年度



再生された三本松

三本松の再生(一本植樹)と松喰い虫駆除の薬剤を授与。また、前回植樹した一本の傾き修正もしていただきました。

平成二十九年



平成二十七年(岡崎北高校のグラウンドに、スピーカーを2基設置しました。グラウンドでは大音量でも、本館や校舎内にいるとその音が聞こえないという指向性の高さです。)



令和2年度卒業生学年幹事・学級代表

同窓生短信②



令和3年度教育実習生

同窓生短信①

平成30年度、令和元年度 懇親会の様子

令和2年度懇親会は中止、令和3年度懇親会も中止です。



スポットライト

北高35回生

長津 一史



調査に乗っての舟

一九八七年に岡崎北高を卒業し、上智大学外国語学部に進みました。そこで東南アジア研究に関心を持つようになり、京都大学大学院人間環境学研究所に進学。学びの場は鴨川のはどりにたつ東南アジア研究所(現東南アジア地域研究研究所)、日本で唯一の東南アジア研究を専門とする研究所でした。後、京都大学の助手等を務め、現在は東洋大学社会学部国際社会学科で文化人類学の研究と教育に従事しています。

東南アジア研究と書きましたが、興味を持ったのはそこに住む海の民とかれらの世界です。国でいえば、フィリピン、マレーシア、インドネシアの三方国に跨がる島々と海の世界。ここには、かつて「漂海民」(船に暮らす人びと)と呼ばれたバジャウ(サマ)という人たちが住んでいます。かれらの国境を越える生き様、かろやかに海をわたっていく生き様に惹かれたのです。いまもこのバジャウ人についての研究を続けています。

● 研究人生への転機

高校の勉強はせいぜい及第点レベル。ただ

英語と地理は好きで成績もそこそこでした。2科目に励んだモチベーションは、とにかく東京に出て、さらに世界に飛びたいという、なんとなく浅はかなものでした。ですから大学に入った後は、目的が定まらずただやきもきするばかり。変化のきっかけは、2年目に休学し、約半年間、欧州・北アフリカ放浪の旅に出たことでした。モロッコからアルジェリアへと砂漠の国境を歩いて越えました。当時はまだ政治的な範疇としての東欧がありました。西のオーストリアから東のハンガリーへ、国境警備隊の荷物検査にうんざりしながら夜行列車で国境を越えました。当時はもちろん「近代国家や国民」という概念の恣意性」といったことにはまったく無知でしたが、このように地続きの国境越えをかさねるなかで、国家や国境の歪みを体感で学んだように思います。帰国後、そうした国家や国境の歪みを考えることができるゼミを選択。国境を跨いで生きるバジャウ(サマ)の研究にのめり込むことになったのです。

バジャウを介して東南アジア全体にも特別な思いを抱くようになりました。東南アジアは多様性に満ちあふれた地域で、何百もの民族が混在しながら共生的な社会を築いています。明治時代には「北人南物」という考え方がありました。欧米のような「北」には学ぶべき人がいるが、東南アジアのような南には「物」資源しかないといった意味です。この欧米への劣等感と、アジア諸国への奇妙な優越感は、いまも日本人の心のなかに残り続けています。しかし、多文化共生が課題となったグローバル化時代のいま、東南アジアは世界のフロントランナーになっています。その社会や文化は、わたしたちが学ぶべき対象にはかならない——こうし

たことが伝えたくて、東南アジア研究を続け、大学で教鞭をとっています。

● メッセージ

これから大学に進む時期、皆さんにとってとても重要なことは、一歩踏み出す勇気を持つことだと思っています。ぼくにとって大学2年時の放浪が人生の契機になったことは書きました。実は、これには前史をなす失敗があります。それは北高3年生のとき、学校からアメリカ留学の誘いを受けたのに断ってしまったことです。理由は「皆から1年遅れるのが嫌だったから」。この情けない過去をずっと悔やんでいたこともあって、その2年後になんとか一歩を踏み出したわけです。皆さんがいま競っている横並びのレースは、長い人生のなかでたいした意味を持ちません。ちょっと立ち止まり、本当にやりたいことを考え、賢沢に、自分のために時間をつかってください。これが高校を出て30年以上がたったいま、心の底から皆さんに伝えたいと思うメッセージです。

長津一史氏 プロフィール

東洋大学社会学部国際社会学科 / 教授
 主著に『国境を生きる—マレーシア・サバ州、海サマの動態的民族誌』木犀社、二〇一九年。



インドネシア・中部スラウェシ州、バジャウ人の子どもと杭上集落

令和3年度 総会・懇親会情報

日時:令和3年9月19日(日)

総会:午前10時30分 竜美丘会館501号室
●懇親会は今年度は開催いたしません。

【令和2年度 北高会 決算報告書】

(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

収入	科目	予算額	収入済額	比較増減額	備考
	繰越金	717,753	717,753	0	
	入会金	2,340,000	2,328,000	△12,000	6,000円×388名
	特別会計より繰入金	1,000,000	1,000,000	0	
	懇親会会費	325,000	未実施	△325,000	
	協賛広告費	72,000	請求せず	△72,000	
	諸収入	150,000	42,864	△107,136	銀行利息、会報購読料など
	合計	4,604,753	4,088,617	△516,136	

支出	科目	予算額	収入済額	比較増減額	備考
	会議費	80,000	1,977	△78,023	
	通信連絡費	285,000	184,575	△100,425	
	総会費	1,300,000	—	△1,300,000	
	慶弔費	8,000	—	△8,000	
	周年行事積立金	800,000	800,000	0	
	同窓会報発行費	320,000	260,040	△59,960	
	部活動激励費	500,000	69,000	△431,000	
	特別会計への戻入金	1,000,000	1,000,000	0	
	雑費	316,753	132,730	△184,023	皆勤賞記念品など
	合計	4,609,753	2,448,322	2,161,431	

【令和3年度 北高会 会計予算書】

収入	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
	繰越金	1,640,295	717,753	922,542	
	入会金	2,148,000	2,340,000	△192,000	6,000円×358名
	懇親会会費	—	325,000	△325,000	
	協賛広告費	—	72,000	△72,000	
	諸収入	150,000	150,000	0	銀行利息、会報購読料
	合計	3,938,295	3,604,753	333,542	

支出	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
	会議費	80,000	80,000	0	若手理事懇親会費用含
	通信連絡費	280,000	285,000	△5,000	
	総会費	1,300,000	1,300,000	0	
	慶弔費	8,000	8,000	0	
	周年行事積立金	800,000	800,000	0	
	同窓会報発行費	320,000	320,000	0	
	部活動激励費	500,000	500,000	0	
	皆勤賞記念品	150,000	—		
	雑費	500,295	316,753	183,542	
	合計	3,938,295	3,604,753	328,542	

【令和2年度 ポブラ基金決算報告書】

収入	科目	収入済額	備考
	繰越金	186,454	
	募金(個人・同年会等振込で受取分)	6,500	ホブラ基金振込
	合計	192,954	

支出	科目	収入済額	備考
	図書館へ	50,000	
	合計	50,000	

【令和3年度 ポブラ基金 会計予算書】

収入	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
	繰越金	142,954	186,454	△43,500	
	募金(総会・懇親会)	90,000	90,000	0	
	募金(個人・同窓回生)	60,000	60,000	0	
	合計	292,954	336,454	△43,500	

支出	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
	ポブラ文庫	50,000	50,000	0	
	施設充実費	100,000	100,000	0	
	予備費	142,954	186,454	△43,500	
	合計	292,954	336,454	△43,500	

【令和2年度 特別会計決算報告書】

令和元年度まで	4,180,903
メイン口座へ貸し出し	-1,000,000
利息	15
メイン口座より返却	1,000,000
利息	14
メイン口座から積立	800,000
合計	4,980,932

協賛広告2件



令和2年度 白楊賞受賞者 ①

令和2年度 先生方の異動
敬称略 カッコ内は(科目、在職年数、転入・転出先)

退職者で転出先が岡崎北高校の場合は、退職者の欄のみに掲載

退職・転出・転入された先生方の一覧
(詳細を知りたい場合は会報15号の紙媒体を参照してください。)

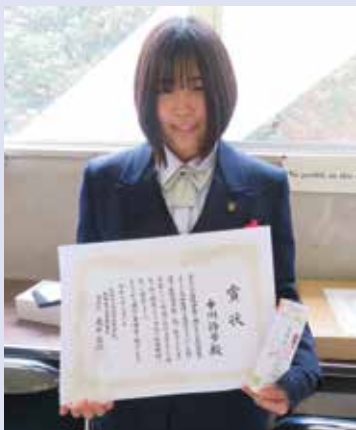
一年生向け進路講演会への
講師派遣サポート

令和二年十二月七日(月)に開催した
第一学年進路講演会の分科会にて、公認
会計士で北高六十四回生高宮大藍氏に講
演をしていただきました。

学年代表者会(理事会)へのお誘い

北高会では、より多くの学年代表者
(理事)の方々及び該当学年の学級幹事
に、学年代表者会(理事会)に参加して
いただき、総会・懇親会を盛り上げてい
ただきたいと願っています。
また、同年会やクラス会を開催する際に
サポートも行っていますので、お気軽に
お問い合わせください。

令和2年度 自楊賞受賞者②



事務局からのお願い

1 同窓会報の記事を募集しています

- (1) スポットライトの執筆者
- (2) 近況報告

自薦・他薦どちらでも構いませんので
お気軽にご連絡ください。

2 同窓会報の購読のお願い

同窓会報の購読者が増えますようお願いを
させていただきます。購読料は、二年で千
円、五年で二千円、十年で四千円です。

3 ポプラ基金への協力をお願いします

ポプラ基金は、北高の環境整備への支
援を目的とした基金です。一口五百円
以上で随時受け付けておりますので、
ご協力していただける方は、お気軽に
事務局までお問い合わせください。

4 お問い合わせ先

電 話 (0564) 22-2566
FAX (0564) 25-9231
メール dousou_kitakoh@yahoo.co.jp
のいずれかの方で事務局までご連絡
ください。

ダイレクトメールに注意を!

今年も、引き続き、ダイレクトメール
や、電話による勧誘に十分にお気をつ
けください。

北高会では、名簿の発行も勧誘
もしていません!